

取材先	本好きを支える会		
企画名	ビブリオバトルin下関		
備者			
取材日	2022年5月15日(日)天候[曇り] [14:00~16:00]	取材地	下関市立中央図書館 4階 多目的室

レポート

本好きを支える会は、毎月「本が好きな人への情報」発行による本の紹介や、「読書ソムリエ」という、誰かが好きな本を紹介し、聞きたいだけの人も参加できる持ち寄り本の集いを、毎月、川中・勝山・小月公民館と彦島・中央図書館で行なっています。

この「ビブリオバトル」も活動の一つで、コロナで一時中断していましたが、ようやく開催されることになりました。

「ビブリオバトル」とは、まず、本の紹介者（バトラー）が、自分が読んで人に紹介したいという本を一冊選んで参加し、その本の魅力を5分間で語ります。バトラーが本を紹介した後、3分間、参加者からの質疑応答といった流れで、全ての本の紹介が終わると、参加者全員（紹介者も含む）が配付された投票用紙で一番読みたいと思った本に投票し、最も多い票を集めた本が「チャンプ本」となります。

当日は、市内外から参加者が集まり、会場はほぼ満員で、紹介者は5人。本のジャンルはさまざま、紹介者の中には小学3年生の男の子もいて、紹介者がそれぞれの語り口で自分が面白いと感じた点や考えさせられたことなどを紹介すると、参加者から質問が飛び交い、大いに盛り上がりました。「私もいつかバトラーで参加してみたい」と思わせる会でした。

次回の下関での開催は、7月24日（日）に中央図書館で予定されていますので、興味のある方は参加されてみてはいかがでしょうか。なお、「チャンプ本」に選ばれた人は、10月に萩市で行われる県大会に出場し、そこで「グランドチャンプ本」に選ばれると図書券1万円分が進呈されます。

状況写真



▲バトラーも兼ねる
田中代表



▲バトラーの太田さん



▲バトラーのなるみさん



▲小学3年生のバトラー
こうき君は、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」を紹介



▲「仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ」がチャンプ本に選ばれたバトラーの倉迫さん

